

学習名：ごみの処理と利用

目標

<単元の目標>

ごみの処理や利用にかかわる対策や事業に関心をもち、ごみの処理や利用と自分たちの生活や産業が深くかかわっていること、これらにかかわる対策や事業が計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解するとともに、地域社会の一員としてごみの減量やリサイクルなど自分たちにできることを考え、進んで協力しようとする。

<本時の目標>

ごみを減らすために自分や帯広市にできることを考える。

（社会的な思考・判断・表現）

概要

<単元の概要>

ごみの処理や利用の活動から学習問題を見だし、施設・設備を調査・見学したり、資料を活用したりして調べたことをノートや作品などにまとめることを通して、その対策や事業が地域の人々の健康の維持・向上に役立っていることを自分たちの生活と関連づけて考え、適切に表現できるようにする。

<本時の概要>

単元をつかむ段階で「分別して出され、しゅう集されたごみは、どのようにしてしよりされるのだろう」という学習問題を設定し、問題解決のための見学学習や調べ学習、そして、資料の読み取りを行ってきた。本時の学習は今までの授業で得た知識や情報をもとに、「ごみの処理」について自分なりの考えをもつ場面となっている。グループ学習のなかでは、「級友の考えを聞き」「認め合いながら」「情報の修正や書き込み」という時間を設定した。一人学びの充実はもちろんのことではあるが、級友の考えと自分の考えを比べることで、見方や考え方が広がり、より学びが深まることを期待している。

●単元全体の評価

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
①ごみの処理にかかわる対策や事業に関心をもち、意欲的に調べている。	①ごみの処理にかかわる対策や事業について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。	①調べたことをノートや作品などにまとめている。	①ごみの処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを理解している。
②地域社会の一員として、ごみの減量や資源の再利用などの取り組みに協力しようとしている。	②ごみの処理にかかわる対策や事業が、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを自分たちの生活と関連づけて考え、適切に表現している。	②施設・設備などを観点に基づいて見学・聞き取り調査を行ったり、地図や統計などの資料を活用したりして、ごみの処理にかかわる対策や事業について必要な情報を集め、読み取っている。	②ごみの処理にかかわる対策や事業は計画的、協力的に進められ、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。
行動観察・記録分析	発言・記録分析	発言・記録分析	発言・記録分析

単元における本学習時間の位置づけ

時間	主な学習活動	関	思	技	知
1	家庭のごみの出し方や、種類別のごみの量のグラフから考えたことを話し合う。	○		○	
2	ごみ置き場を見学して、気づいたことを発表し合う。		○		○
3	ごみのゆくえを考えながら、学習問題をつくる。		○		
4	清掃工場を見学して、わかったことをワークシートに整理する。				
5	○燃やした後に残った灰のゆくえについて話し合う。		○	○	○
7	○ごみを燃やした後の灰がどのように処理されるかを調べる。 ○ごみを燃やした時の熱をどのように利用しているかを調べる。				
8・9	資源物や粗大ごみのリサイクルについて、リサイクル施設を見学して調べる。身のまわりにリサイクルがないかを考え、発表して話し合う。	○	○		
10	「ごみのしよりのうつりかわり」のイラストと、「市の人口の変化」のグラフを関連付けて、考えたことを発表し合う。		○		
11	ごみの処理が抱える新しい問題について調べ、わかったことを発表し合う。		○		
12	ごみを減らすために、家庭・学校・商店・地域がそれぞれどのような取り組みを行っているかを調べ、発表し合う。		○	○	○
13 本学習	ごみを減らすために自分にできることを考え、発表し合う。	○	○		
14	これまでの学習でわかったことや考えたことを発表し合う。	○	○		

本学習の 評価

ごみを減らすために自分や帯広市にできることを考えることができたか(社会的な思考・判断・表現)

〈評価のポイント〉

- ①授業のまとめをノートに記入することができたか。(ノート)
- ②級友の考えや取り組み方を共感的に受け止め、多様な視点をもって課題解決に取り組むことができたか。(ノート)
- ③自分の考えと級友の考えを比べ、関連付けながら、グループ学習を行っているか。(行動観察)

使用教材

- 4-001 スライド「乗り物とエネルギーのお話」
4-002 動画
2-104 くりりんセンター (板書掲示)



本時の展開

	学習活動	評価	教師の支援と留意点
導入	<p>1. 前時の振り返りをする。</p> <p>○3R(4R)の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リデュース (Reduce)…ごみになるものを減らすこと ・リユース (Reuse)…何度もつかえるものを繰り返し使うこと ・リサイクル (Recycle)…原料に戻し、再び使うこと (・リフューズ (Refuse)…必要のないものを断ること) <p>○ごみ処理の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別、費用、処理しにくいごみの問題… →ごみ処理に関わる様々な問題…解決できないかな? <p style="text-align: right;">見通す</p>	知①	<p>○資料の掲示(ICTの活用)</p> <p>～ごみ処理に関する写真資料やグラフを掲示し、今までの学習を想起させる。</p>
展開	<p>2. 課題を提示する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">帯広市のごみをへらすために、自分にできることを考えよう。</p> <p>3. 今までの学習を振り返りながら、自分にできること(方策、作戦)を考える。</p> <p>ごみを減らすための呼びかけをするよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃工場で勉強してきた、リサイクルするという考え方が大事じゃないかな。 ・地域の人や他のまちと協力しながら、計画するのがいいのではないかな。 <p>4. グループ学習をする。情報の交流をし、グループでの方策(作戦)を練る。</p> <p>5. 全体交流をする。情報を全体で共有し、比較したり、関連づけたりする。</p> <p>6. 本時で学んだことを自分の言葉でノートにまとめる。</p> <p>(例) ごみ処理の問題を解決するためには、 ○○することが重要だと考えた。理由は△△だからです。</p> <p style="text-align: right;">学び合う 振り返る</p> <p>7. ごみ処理について、バス会社の取り組みを紹介する。</p> <p>・天ぷら油から燃料を作ることができる→バイオディーゼル燃料という。 ・帯広市でも走っている。</p>	思②	<p>○資料の準備と一人学びの充実</p> <p>～机間指導の中で、書けない児童への支援、励ましを行う。補助簿を利用し、全体交流や評価などに活かす。</p>
終末		思②	<p>○グループ学習の活用</p> <p>～ミニホワイトボードを使い、意見をまとめさせる。</p>
		思②	<p>○児童の考えの板書</p> <p>～関連・比較・総合する。</p>
		思②	<p>○振り返りの場面設定</p> <p>～全体から個に戻す。児童から出た言葉を黒板に板書していく。</p>
			<p>○学び直し</p> <p>～視点を広げる。日常生活と関連付ける。</p>

板書計画

